

●ボランティア「森の仲間たち」によるイベント

『ネイチャークラフト』

【会場】 ふれあい動物園内～ウサ・モルハウス周辺にて

木の実や枝などを使って簡単な工作を楽しもう！

日時：3月27日(日) 10:00～15:00

1個200円(個人会員1個無料)

森のお便り 3月号 2016年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」16年3月1日発行 通巻157号

春のファン感謝祭

3月27日(日)

●飼育員のやっべっぞ！！ガイド

飼育スタッフしか知らない各動物の話や獣舎内の説明など、いつものガイドとは違うガイドを実施(ガイドは1回15分)

【会場】 各ガイドする動物の獣舎前

- | | |
|----------------|------------------|
| ○10:30～ バードケージ | ○11:30～ フクロテナガザル |
| ○12:20～ ヤギ | ○13:30～ ライオン |
| ○14:30～ ミアキャット | ○15:30～ リクガメ |
| ○16:00～ ニホンザル | ○16:30～ レッサーパンダ |

●到津ドキドキわくわくツアー

会員様限定(当日会員になっていただける方も可能)のバックヤードツアーを行います。いつものバックヤードツアーでは体験できないエサやりをしたり、担当飼育スタッフのとおき話を聞いたり・・・

【会場】 各獣舎 11:00～12:00 14:00～15:00

※会員限定(参加者は電話で事前に募集します)

3月16日(水)9:00から受付開始

【定員】 各回先着20名程度

イベント
もいたくさん！
会員は、
さらにお得！！

ミモザ・サクラフェア

3月2日(水)～3月31日(木)

※3月15日(火)は休園日

今年は、ミモザの開花が例年になく早さでやってきました。

当園HPで、かなり早くからミモザの開花情報をお伝えしているところですが、ミモザ・サクラフェアは、予定通り3月2日から行っていますよ！

南北両ゲートには、ミモザ・サクラの開花情報や見どころが一目でわかる大型ガイド！

そして北ゲートには、ミモザ・サクラバージョンのフォトスポットも登場します。さらに女性とシニアの方には、オリジナルポストカードなどのプレゼントを行います。

皆様のご来園をお待ちしております。

詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

花曆 弥生

またまた今月も野草というのもおこがましい、草取りに手こずる雑草、スズメノカタビラ(雀の帷子)、イネ科イチゴツナギ属、1~2年草のお話です。

有史以前に日本に定住し、まさに日本の風土に溶け込んでいる植物で、その姿は芝より少し背の高い、どこにでもある草。指させば、“あら、これっ、ちゃんと名前があるのね”と返事が返ってきそう。

草丈は5~20cm、葉は10cmまでの線形で真っ直ぐ。葉先はとがり、ややくぼんで触先(へさき)形となっている。花をつける為の軸に細い枝を出し、3~5個のごく小さな花のかたまりがつけます。道端、ゴルフ場、畑等あらゆる所に生え(南極の昭和基地にも仲間が見つかる)始末におえない奴ですが、スズメノカタビラという面白い名前は、何処からきたのでしょうか。

“スズメ”は小さいあるいはありふれたものを指して、よく使われています。カタビラ(帷子)は麻等で仕立てた一重(ウラナシ)の着物で、経帷子(死者に着せる)湯帷子(湯上り・ゆかた)等、“晴れ”のものではありません。

花を虫めがねで覗くと、折り畳んだような筋目があり、各小花から雄シベ・雌シベも覗いています。全体は緑白色ながら、薄い紫色を帯びた部分もあり、風に揺れる様は、私にはスズメがカタビラを着て居並びさざめき合っているように見えて、思わず顔がほころんでしまいます。

確固とした定説はないようです。

○どこでも生え、誰にも顧みられず、踏み跡植物(踏まれると成長ホルモンが分泌する麦と同じ特長を持つ)の名前はぴったり。

○花粉症の原因との説もあり

○全草を洗って乾燥し、トキの巣材として与えている等、面白いエピソードのある植物ですが、古くからの身近な植物としては、食用・薬用にされた記録は残っていません。

コブシ・タムシバ・クロキの白い花、サンシュユ・イヨミズキ・レンギョウの黄花と咲きはじめ、いよいよ春の花のシーズンを迎えます。

文：花咲くおばさん

森のなかま・ニホンザル

恋する乙女たち

今回は、2ヶ月続けてニホンザルのお話を。

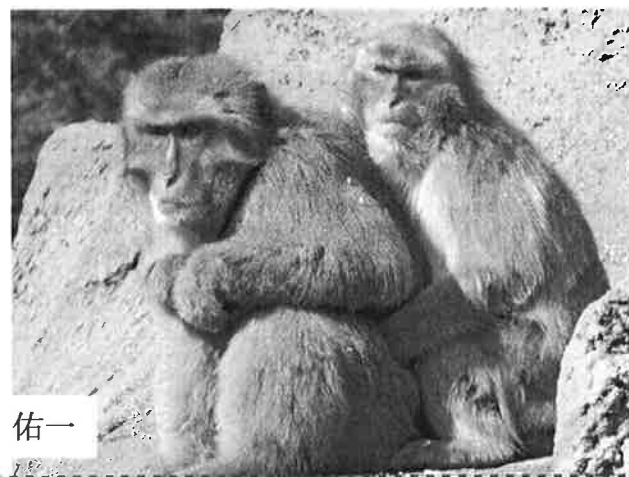
冬は、ニホンザルたちの恋の季節でもあります。例年、当園では1月から3月にかけてが恋のピークのように、顔を赤らめた大人のサルたちが、思い思いの相手とペアになっている姿をよく見かけます。

一般的に、動物の恋の行方はメスが主導権を握っていることが多いのですが、ニホンザルはそうとも限りません。オスが嫌がってメスを避けたり、追い払ったりすることもあります。

恋するメスたちは、ギューアアアギューアアアというような鳴き声で気持ちを表現します。これは、「恋鳴き」と呼ばれていて、発情したメスにしばしばみられる行動です。恋がなかなか実らないメスたちが、少しずつ少しずつ意中のオスに近付き、毛づくろいをしたり、抱きついたり、距離を近づけようとしている姿はなんとも健気なものです。

見事に結ばれたペアたちは、身をぴったりと寄せ合い、お昼寝したり毛づくろいしたりと、微笑ましい姿を見せてくれます。

ただ、ニホンザルは乱婚制。次の日には、相手が変わっていることもありますので、ご注意を。



飼育展示係 石橋 佑一